

## 小学校における歴史学習の工夫③ ~模擬インタビュー~

単元や小単元のまとめの段階で、歴史上の人物への「模擬インタビュー」を行うことにより、子どもが、歴史上の人物の考え方や生き方に思いを寄せて、人物の働きを共感的に理解できるようにする実践例を紹介します。

### 歴史上の人物への共感を生む「模擬インタビュー」の実践例

小単元「聖徳太子の国づくり」

**1 これまで追究してきた聖徳太子の業績について確認する。**

- 十七条の憲法
- 冠位十二階
- 遣隋使の派遣
- 仏教の奨励、法隆寺の建立

**2 「模擬インタビュー」で演じてみたい聖徳太子の業績を一つ選ぶ。**

**3 「模擬インタビュー」の原稿を書く。**

下に示した原稿シートは、イラストや吹き出しを取り入れて、子どもが聖徳太子になりきって自分の考えを表すことができるよう工夫します。

インタビュー原稿シート	氏名 [ ]
インタビューのタイトル  「聖徳太子はなぜ『十七条の憲法』を作ったのか」	
 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px;">         レポーターの〇〇です。          聖徳太子さんは、なぜ「十七条の憲法」を作ったのですか。       </div>	
あの時、私は、 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	
	

**4 ペアを作り「模擬インタビュー」をする。**

相手にレポーター役になってもらい、聖徳太子役として質問に答えます。それぞれ役割を交替して行い、時間があればペアを替えて模擬インタビューを続けます。



小単元や単元のまとめの段階において「模擬インタビュー」を行うことで次の効果が期待できます。

- ☆ インタビューを演じ合うまでの過程を通して、歴史上の人物との対話が生まれ、人物の考え方や生き方に思いを寄せながら、その働きを共感的に捉えることができます。
- ☆ 歴史上の人物になりきってインタビューの原稿を作成したり、答えたりすることにより、子どもが、自分の考えを人物の言葉を通して自然に表現することができます。
- ☆ 単元や小単元の学習を振り返り、歴史上の人物の働きについて再確認することができます。



今、授業の中で、言語活動の充実が求められています。歴史上の人物の働きについて共感的に理解させる上で、「模擬インタビュー」は、有効な言語活動の一つです。